

今後の笠岡市の財政と取り組み (平成18年度～20年度)

今後、税金・地方交付税など国の地方財政対策の縮小が予想される中、さらなる健全な財政基盤を確立するためには、財政の収支のバランスを安定させて財政運営が可能な仕組みを創らなければなりません。また、同時に後年度の市民に大きな財政負担を残さない財政運営も実現していかなければなりません。

21世紀のゆるぎない笠岡づくりを進めるためには、この計画を確実に実行し、さらに創意工夫を加えながら推進します。



☆ 今後の具体的方策 ☆

引き続き、平成18年度から20年度も財源不足解消のため具体的方策効果額を設定し、より一層の改革を進めていきます。

項目・主な取組内容	H18削減目標額	H19削減目標額	H20削減目標額
①人件費の抑制 ・組織機構改革の実施 ・人員の削減 ・職員手当の見直し	2700万円	1500万円	1100万円
②内部管理経費の削減 ・臨時職員等の見直し ・他会計繰出金等の見直し	8500万円	8000万円	7900万円
③施策の見直し ・公共工事コスト縮減の推進	3900万円	3800万円	3900万円
④市債借入額等の抑制 ・ハード事業一般財源の抑制	9200万円	1億9200万円	1億9200万円
⑤収入の確保 ・市税収納率の向上	3700万円	1700万円	1700万円
⑥その他 ・予算編成手法の改革	—	—	—
合計	2億8000万円	3億4200万円	3億3800万円

☆ 財政健全化計画の最終目標(財政指標の数値) ☆

経常収支比率	85.0 % 未満
公債費比率	15.0 % 未満
起債制限比率	9.5 % 未満
実質公債費比率	18.0 % 未満



問合せ…財政課 ☎69-2126